

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)
 Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2020年2月10日(月)

NO. 1037号

本号3頁

「共謀罪法廃止せよ!」と、6日行動開催!

2017年6月に「中間報告」による強行採決で成立した共謀罪法。何としても廃止させようと、国会開会中の6日に行っている「秘密保護法廃止!共謀罪法廃止!2.6・4.6を忘れない6日行動」が2月6日、行われました。お昼には、議員会館前で「国会前行動」として集会を開催し、午後には議員会館会議室で「共謀罪廃止法案の審議を求める」院内集会を開催し、共謀罪対策弁護士事務局長の三澤麻衣子弁護士が講演しました。



お昼の集会には、日本共産党の武田良介参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員、立憲民主党の高木廉太郎衆院議員が参加しました。高木議員は議員会館前行動で「安倍官邸の横暴が極まった。東京高検検事長の定年を延長し、検察人事に介入した。安倍政権の横暴に慣れてはいけない。この政権を終わらせる年にしよう。心ひとつにして一緒に政権をかえていこう」と訴えました。

その後、総がかり行動実行委員会の高田健さんなど参加者から発言がありました。憲法会議の高橋事務局長は、野党の「桜を見る会」問題での追及にまともに答えない安倍首相を厳しく批判するとともに、「繰り返し改憲を叫ぶ安倍首相の9条改憲を許してはならない、今年こそ安倍9条改憲に終止符を」と訴えました。

各地で、アベ政治許さない「3の日行動」展開!

3日、全国各地で作家の澤地久枝さんの呼びかけた、「アベ政治を許さない」のポスターを掲げ「3の日行動」が行われました。

国会前では、春のような日が差した3日、作家の澤地久枝さんの呼びかけに応じた市民が国会議事堂前で「アベ政治を許さない」のポスターを掲げました。

仕事が休みのときは参加するという川崎市の女性(42)は「(安倍首相は)消費税(安倍首相は)消費税を10%に上げながら、『桜を見る会』で自分のために使っている。税金泥棒じゃないか」と批判しました。アフガニスタンで射殺された医師、中村哲さんが2001年に衆院テロ対策特別委員会で述べた「自衛隊派遣 有害無益」のポスターも一緒に掲げた女性(71)＝東京都世田谷区＝は「11年に大きな病気をしたけれども、この政権下では死ねないと思うと力が湧いてくる」と話しました。

澤地さんは「中村(哲)先生は政治がアフガンでの活動に影響すると知っていた。憲法を守らないといけないということを体を張って示した。先生は亡くなったけど、私たち一人ひとりの意志を大事にして示していきたい」と話しました。

三重・津市では「アベ政治許さない」宣伝フラカードを掲げてアピール

津市で3日、「アベ政治許さない」宣伝が2ヶ所で取り组まれました。「憲法を守り生かすみんなの会・津」と「憲法共同センター・みえ」が呼びかけたものです。まん中広場前では8人、中勢バイパス交差点前では6人が参加し、プラカードを掲げてアピールしました。



まん中広場前で演説に足を止めた男性(71)は、「安倍首相の国会答弁は歴代自民党の首相と比べても一番ひどい。何としても退陣させたい」。女性(72)は、「安倍政治は最低で、早く代わってほしい。桜を見る会やカジノ汚職など、政治を私物化して金権政治が横行している。野党ががんばって辞めさせてほしい」と話しました。

安倍首相が「うそつき」と質問者をののしる

「桜を見る会」の私物化疑惑をめぐって、安倍首相が4日の衆院予算委員会で、野党の質問者に対して「うそつき」などと色をなして攻撃し、「人間としてどうなのか」などとののしる異様な態度を示しました。

立憲民主党、国民民主党などの共同会派の黒岩宇洋議員が、「桜を見る会」の前夜祭が5000円と格安だった点について「買収」と述べたことについて、安倍首相は「極めて失礼な発言だ」と激高。黒岩氏がホテルの規約を持ち出して参加人数が変動した場合のリスクなどについてたずねると、「根拠のないことをいっている。うそをついている」と発言しました。

黒岩氏が規約を読み上げて安倍首相の発言の撤回を求めると、安倍首相は、黒岩氏が前夜祭に高級すし店の料理を出していたと主張していたことを持ちだして、「うそつきだ」と再び発言。さらに、黒岩氏が首相秘書官の耳打ちをとがめたことについても、「秘書官を怒鳴るといえるのは人間としてどうなのか」と激高しました。

衆院予算委員会終了後に同委員会理事会が開かれ、野党側は、安倍首相が黒岩議員に「根拠のないことを言っている。うそをついている」と発言した問題について、発言の撤回と謝罪を要求しました。与党側は、持ち帰り検討することを約束しました。

3日は「ホテルと出席者の契約だ」とのあきれ果てた発言

3日には、「桜を見る会」をめぐり、安倍首相と立憲民主党の辻元清美幹事長代行が激論を交わした。「脱法行為だ」。辻元氏は、桜を見る会の前日に開催された「前夜祭」を後援会が主催しながら、首相側が「ホテルと出席者の契約だ」として政治資金収支報告書に記載しない手法を「安倍方式」と批判。政治資金規正法の趣旨に反すると追及しました。

これに対し、首相は「例えば後援会の人たちが集まり、割り勘で会費を払ってもらえば、収支報告書に載せない」と主張。「われわれが仲介しているが、主催は参加者だ」と反論しました。この驚きの回答、何か安倍さん変じゃありませんか。

「募っているけど募集はしていない」とのとんでもない発言

そして、「募っているけど募集はしていない」とのあの発言。28日の衆院予算委員会で、安倍首相から「桜を見る会」をめぐり「迷答弁」が飛び出し、現場は騒然となりました。首相の地元事務所名で、同会を含む観光ツアーへの参加を募る文書が地元有権者に送られていた問題で、共産党の宮本徹議員が文書を示しながら「この文書は見たことがなくても、募集していることはいつから知っていたのか」と追及した。すると、首相は「私は、幅広く募っているという認識だった。募集しているという認識ではなかった」と述べたのです。

宮本氏は厳しい表情で「私は日本語を48年間使ってきたが、『募る』というのは『募集する』というのと同じですよ。募集の『募』は『募る』っていう字なんです」と諭しました。

こんなF35戦闘機を爆買い？

欠陥873件のうち「安全性に影響」13件

米国防総省の運用試験評価局は30日に米議会に提出した2019年度の年次報告書で、航空自衛隊も導入を進めているF35ステルス戦闘機について、昨年11月4日現在で873件の「未解決の欠陥」が残されており、うち13件は作戦の有効性や安全性に影響を与える「カテゴリー1」に分類されていることを明らかにしました。同報告書は、「欠陥を修正しても、新たな欠陥が発見され続け、結果としてわずかな減少にとどまっている」と指摘しています。

F35について米国防総省は現在、最新鋭の核爆弾「B61-12」を搭載可能なシステム「ブロック4」への移行を進めており、2020年代半ばまでに核搭載を可能にすることを狙っています。

これに関して、報告書は「ブロック4」の機能を導入する前に「解決すべき欠陥が多数ある」としており、計画が遅れる可能性もあります。

報告書は、具体的な欠陥について明らかにしていませんが、米軍事専門紙「ディフェンス・ニュース」（電子版）は昨年6月12日付で、「カテゴリー1」13件の内容を、独自入手した資料を基に報道。▽操縦席内の気圧が急変し、パイロットに障害を及ぼす▽飛行速度がマッハ1・2を超えると機体のステルスコーティングに損傷が加わる一などの欠陥が含まれています。

昨年4月には空自のF35Aが青森県沖で墜落。空自はパイロットが平衡感覚を失い、機体の上下の姿勢や方向などを錯覚する「空間識失調」の可能性が高いとしましたが、ブラックボックスが回収されていないため、真相は不明です。

こんな欠陥機を莫大な予算で購入を進めようとする安倍政権は、この欠陥を直視し、ただちに購入を断念すべきです。



各地のとらきみ

北海道 降りしきる雪のなか、大横断幕を掲げプラカードアピール行動

降りしきる雪について、「安倍9条改憲NO!戦争反対!派兵ノー」と書いた3.5メートルの大横断幕が道行く市民の目に飛び込んできます。3日、北海道旭川市の旭川共同行動実行委員会が実施した52回目の「アベ政治を許さない」プラカードアピール行動です。

旭川駅前では16人が「安倍9条改憲NO改憲発議に反対する全国緊急署名」と「ヒバクシャ国際署名」を元気よく呼びかけました。

「アベさんを支持しているから書かない」という女性が1人いたものの、駆け寄って来て、「なかなか1人ではできない。親や子どもの名も書きたい」と話す女性がいました。

初お披露目の大横断幕は、新日本婦人の会太陽班の大浦真理子さんの力作。女子中学生が隅から写真を撮ろうとしていたので、「まん中に来たら」と声をかけると、「何か気になって」と正面からスマホに収めました。



共同行動実行委員会には旭労連、民衆商工会、新婦人、生活と健康を守る会、道北勤医協、社保協、日本共産党、農民連が2015年11月にスタート。プラカードアピールは、安倍政権を倒すまでどんな天候でも続けようと話し合い、共同の力を発揮してきました。

岐阜 共闘の力で改憲阻止しよう 西濃共同センター

岐阜市大垣市で2日、「安倍改憲を阻止し、市民と野党の共闘で、安倍暴走政治をストップさせよう」と討論集会&一人芝居が行われ、会場いっぱいの100人の熱気に包まれました。主催は、民商、年金者組合、自由法曹団など13団体が呼びかけた「憲法9条を守る西濃共同センター」。

笹田参三弁護士が主催者あいさつし、岐阜総がかり実行委員会・市民と野党の統一組織「ピースハートぎふ」代表の河合良房弁護士、国民民主党の菊川加奈子大垣市議が来賓あいさつ。「絶対戦争をさせてはならない。安倍政権を一緒に倒そう」と訴えました。

討論集会では6人が発言。西濃民商の細江正孝事務局長は「市民と野党の共闘で消費税5%減税署名を広げよう」。年金者組合の河村秀一支部長は「年金財源は前年より増えている。下げるのは間違いだ」と声をあげよう」と訴え。西濃医療生協の松岡和彦専務理事は「高卒までの医療費無償化が11自治体中六つで実現。さらに広げたい」。日本共産党西濃地区の森桜房義委員長は「多様性を認め、野党連合政権実現に全力を尽くしたい」と語りました。

一人芝居では国会前や基地などで抗議行動を続ける右田隆さん(52)が「九条への生還」を上演。「戦争が間違いであることを伝えたい」と日本国憲法前文を読み上げ、「イムジン河」をギターで熱唱しました。